

フォトレコーダ

A4 フォト&ネガ パーソナルレコーダー

PRN-400S

取扱説明書

ご購入いただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らない場合
火災や人身事故につながるおそれがあります

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、
製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも
見られるところに保管してください。

目次

最初にお読みください

安全性に関する重要注意事項	3
写真・その他原稿の読み込みについて	4
著作権の対象となる著作物について	5
複写の注意	5
本製品の廃棄について	5
電池の使用に関する注意	5

はじめに

セット内容の確認	6
各部の名称とはたらき	7
《正面図》	7
《背面図》	8
《底面図》	8
ランプの点灯パターン	9

フォトレコーダを使用する

準備する	11
◆本体に電池を入れる	11
◆外部電源に接続する	12
メモ리카ードを挿入する	12
本体の電源を入れる	13
保存形式を設定する(モード切替)	13
原稿をスキャンする	14
35mmネガフィルムをスキャンする	16
パソコンに接続する	19
◆パソコンのシステム要件	19
◆接続のしかた	19

詳細情報

スキャンに適した原稿と適していない原稿	22
原稿とスキャン画像の向き	24
スキャン画像のクロップ処理	25
カール防止シートを使用する	26
ファイル名と保存に関するルール	27
対応メモリカード	28

お手入れとメンテナンス

本製品のクリーニング	29
◆ 筐体のクリーニング	29
◆ ローラーのクリーニング	30
◆ 画像センサーのクリーニング	31
キャリブレーションについて	32
保管のしかた	33

トラブル対処法	34
---------	----

仕様	36
----	----

最初にお読みください

安全性に関する重要注意事項

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品に付属している電源アダプタ以外は使用しないでください。付属の電源アダプタ以外のアダプタを接続することは極めて危険であり、火災や爆発を招くおそれがあります。



電源アダプタのケーブルを切断したり、曲げたり、改造したり、重いものを載せたり、踏みつけたりしないでください。これを守らない場合、外部絶縁体が損傷し、ショートや火災を招くおそれがあります。



本製品が異臭や高熱を発している場合や、不具合が見られる場合には、ただちに電源を切って、電源アダプタをコンセントから抜き、販売店にご相談の上、点検や修理を受けてください。

注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは物的損害が発生する可能性があります。



本製品の解体や改造は行わないでください。本製品の内部には、ユーザーによる修理が可能な箇所はありません。無許可の改造を行った場合、製品保証は無効となります。



本製品を落としたり、衝撃や振動を加えないでください。強い衝撃が加わると、内部の部品が損傷するおそれがあります。



本製品の電源ソケットと USB ポートは、付属の電源アダプタと付属の USB ケーブルの接続用に設計されています。それ以外のものをこれらのソケットに差し込まないでください。



本製品は、直射日光のあたる場所や熱源の近く（直射日光の当たっている閉め切った車内や調理台の近くなど）には置かないでください。過度の熱にさらされると、筐体に変形したり、内部の高性能センサーが損傷するおそれがあります。



本製品を水の近くや雨天の屋外で使用しないでください。また、液体が製品の内部に入らないようにしてください。水分や湿気により電子部品がショートして、製品の不具合を招くおそれがあります。



本製品をホコリの多い環境で使用しないでください。製品に粉じんが付着し、原稿にキズをつける原因となります。ホコリやゴミが付着した原稿は、読み取りを行わないでください。



本製品は、電子レンジやテレビなど強力な電磁波発生源の近くでは使用しないでください。電磁妨害により製品に不具合を招くおそれがあります。



本製品のメモ리카ードスロットには、対応メモ리카ード以外のものを挿入しないでください。スロット内部の金属端子は、異物の挿入により損傷しやすい構造になっています。

写真・その他原稿の読み込みについて

・大切なお写真など、1枚しかないものを読み込む際には、この取扱説明書をよくお読みになり、操作をお間違えなきよう、ご使用ください。

・本機の使用による原稿などの破損、損失につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・**フォトリソ**で読み込んだフィルムのデータは、現状のネガの状態をデジタル処理したものであり、プリントされた写真との比較において、同一を保証するものではありません。また、フィルムの保存状態や経年による劣化、傷み、伸びなどもそのままデータに反映されますことをご了承ください。

・本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。

以下の筆記具で描かれた原稿の読み込みは、センサーに材料が付着し、以降の入力画像に影響が出る場合がございます。付属のカール防止シート（サイズ 185mm×125mmまでの原稿収納）を使用するか、読み込みをお控えください。

- 油絵の具 ●貼り絵・コラージュを施した原稿
- 乾ききっていない水彩画などの原稿
- クレヨン ●クレパス ●クーピーペン

著作権の対象となる著作物について

著作権の対象となる著作物や画像、出所が不明のものをスキャンしたり再配布することは避けてください。このような著作物を使用してスキャンや再配布を行うことは、著作権法やお住まいの地域の関連法規に違反する可能性があります。当社は、上記の法律を違反したことに起因する損失に対する責任を負いかねます。

複写の注意

紙幣や政府発行の有価証券、未使用郵便切手などは、単にその複写を所有しているだけでも法律で罰せられます。十分にご注意ください。民間発行の有価証券（株券、小切手など）や、パスポート・身分証明書などの複写には、注意が必要です。書籍、写真など、著作権の対象になっているものは、個人的または家庭内あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外は、複写を禁じられています。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、環境保護のため、お住まいの地域の廃棄物処理に関する法規に従って適切に処理してください。

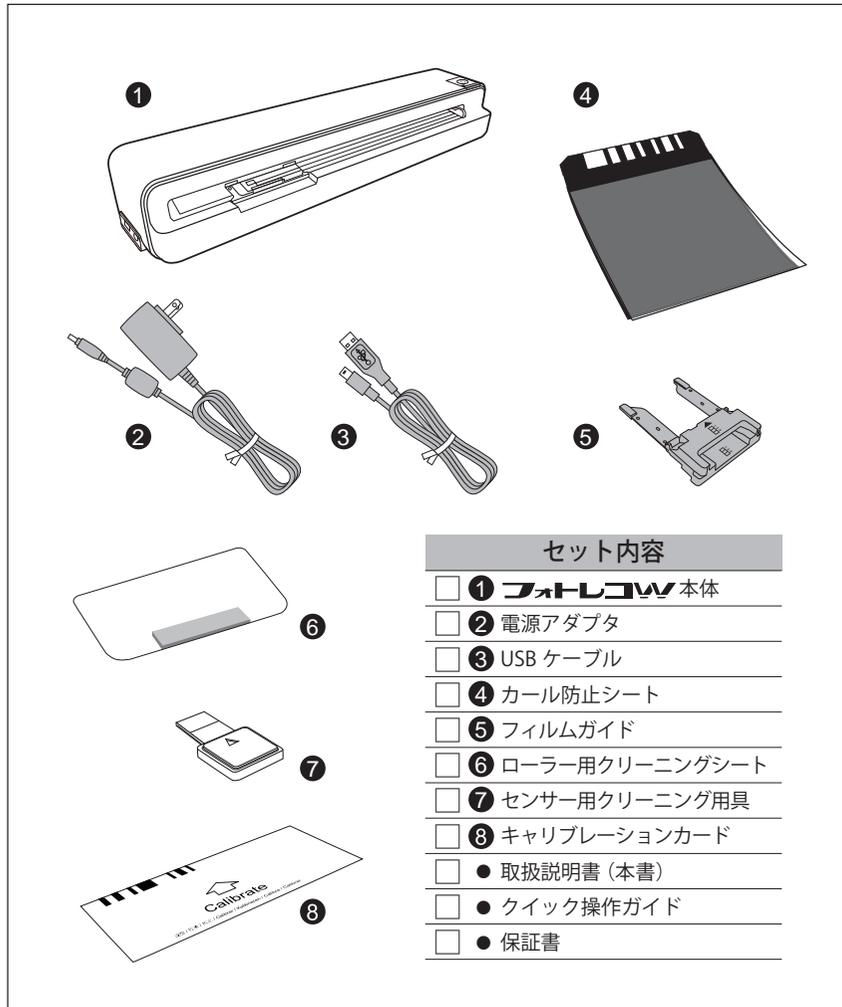
電池の使用に関する注意

- ・市販のニッケル水素電池（充電式）をご使用ください。本機に充電機能はありませんのでご注意ください。
- ・マンガン乾電池は使用できません。
- ・電池の⊕と⊖が正しい方向に入っているかを、電池ボックス内の図を見て必ず確認してください。
- ・電池は種類によってそれぞれ性質が異なります。違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ・古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。電池の寿命を縮めたり、古い電池から化学物質が漏れる原因になります。
- ・電池から漏れた化学物質によって、皮膚がかぶれる場合があります。万が一、電池から化学物質が浸みだした場合には、直ちに乾いた布で拭き取り、できるだけ早く新しい電池と交換してください。
- ・ランプが「電池残量わずか」の場合（10ページ参照）、スキャン動作中に停止するのを防ぐため、スキャンする前に電池を交換してください。

はじめに

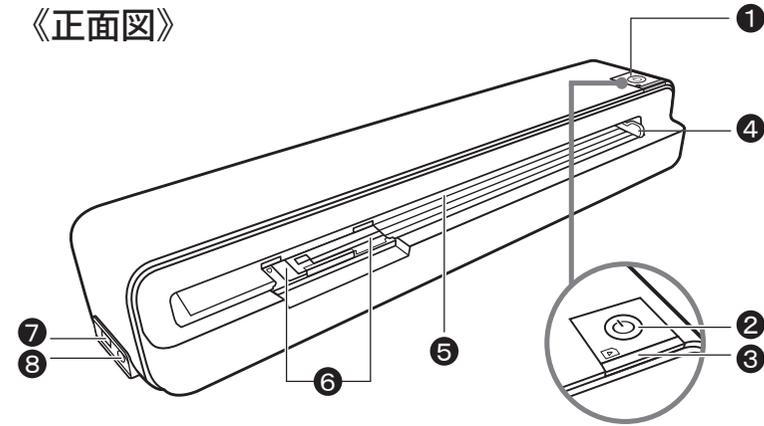
セット内容の確認

お買い上げの製品に、以下のアイテムが同梱されているか確認してください。
アイテムに不足や損傷がある場合は、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。



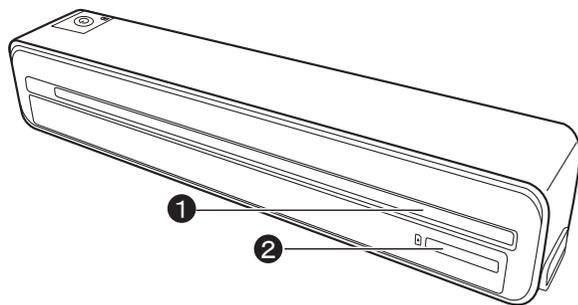
各部の名称とはたらき

《正面図》



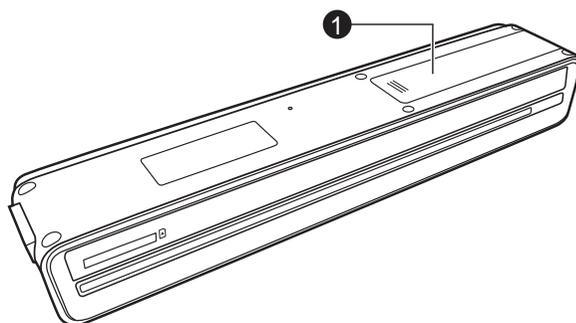
番号	名称	はたらき
①	電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 本体の電源を入れるときに押します。 電源が入っているときに軽く押すと、読み取りモードを変更することができます。 1秒以上長押しすると、本体の電源が切れます。 挿入スロット (⑤) に原稿が詰まった場合には、このボタンを押して原稿を排出します。
②	オペレーションランプ	本体の機能の状態や動作状況を知らせます。 詳しくは、9ページの「ランプの点灯パターン」をご覧ください。
③	ステータス/カードランプ	本体とメモ리카ードの機能の状態や動作状況を知らせます。 詳しくは、9ページの「ランプの点灯パターン」をご覧ください。
④	原稿ガイド	小さな原稿が、正しい位置で読み取られるようにガイドします。
⑤	挿入スロット	スキャンを開始するには、原稿をこのスロットに挿入します。
⑥	溝	フィルムガイドを取り付ける際に使用します。
⑦	ミニ USB ソケット	USB ケーブルを使用してパソコンと接続する際に使用します。
⑧	電源ソケット	付属の電源アダプタの接続に使用します。

《背面図》



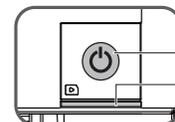
番号	名称	はたらき
①	排出スロット	読み取られた原稿は、このスロットから排出されます。
②	SD/MMC/MS カードスロット	使用できるメモリカードは、SD、MMC、MS の各カードです。 詳しくは、28 ページの「対応メモリカード」をご覧ください。

《底面図》



番号	名称	はたらき
①	電池ボックス	電池カバーを開けて、単 4 電池を 4 本 入れます。

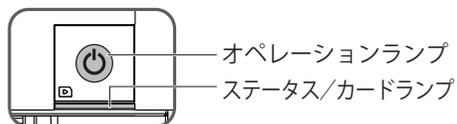
ランプの点灯パターン



— オペレーションランプ
— ステータス/カードランプ

2つのランプの点灯パターンとその意味については、下の表を参照してください。

点灯パターン		ゆっくり点滅	速く点滅	点灯中	消灯
オペレーション ランプ	ステータス/ カードランプ	意味（動作状況）			
		フォトコウ が使用可能な状態です。 ・写真モード (JPEG 形式) / 解像度は 300dpi です。(初期設定) ・フィルムモード (JPEG 形式) / 解像度は 1200dpi です。 (フィルムガイド装着時)			
緑ランプ	緑ランプ	フォトコウ が使用可能な状態です。 ・写真モード (JPEG 形式) / 解像度は 600dpi です。			
		フォトコウ が使用可能な状態です。 ・PDF モード / 解像度は 300dpi です。			
		設定した読み取りモードで、原稿のスキャンを実行中です。 フィルムガイド装着時は、フィルムのスキャンを実行中です。			
緑ランプ	緑：JPEG 橙：PDF				
		電源がオフの状態です。			
		・システムとメモリカードの初期化を実行中です。 初期化処理が終わってから、本製品を使用してください。 ・画像ファイル保存のためビジー状態です。 この処理が終わってから、次の原稿を挿入してください。			
緑ランプ	緑：JPEG 橙：PDF				
		ローラークリーニングモードになっています。			
緑ランプ	橙ランプ				
		ローラーのクリーニングを実行中です。			
緑ランプ	橙ランプ				



2つのランプの点灯パターンとその意味については、下の表を参照してください。

点灯パターン		ゆっくり点滅 速く点滅 点灯中 消灯
オペレーションランプ	ステータス/カードランプ	意味 (動作状況)
 緑ランプ	 緑: JPEG 橙: PDF	<ul style="list-style-type: none"> 紙詰まりが発生しました。詰まった原稿を取り除くには、電源ボタンを押してください。詰まった原稿が戻って出てきます。 キャリブレーション中にエラーが発生しました。お近くの販売店にご連絡ください。
	 緑: JPEG 橙: PDF	次のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none"> メモリカードが挿入されていない メモリカードの空き容量がない (空き容量 10 MB 未満) メモリカードエラー SD カードがロックされている カードのファイルシステムが対応していない 別のカードを使用する、カードから一部ファイルを削除する、SD カードのロックを解除するなどして対処してください。
 橙ランプ		電池の残量が少なくなっています。速やかに電池を交換するか、外部電源に接続してください。
 橙ランプ		電池の残量がほとんどありません。自動的に電源が切れます。

フォトレコWを使用する

準備する

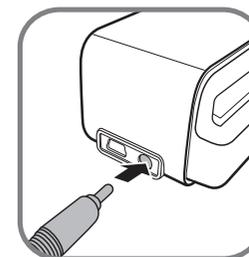


- 1 原稿ガイドを固定しているテープをはがします。

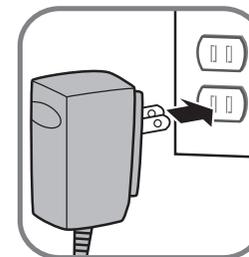
ご注意：
この手順は、本製品を初めて使用する場合のみ必要です。

本製品には、外部電源または電池がご使用いただけます。

◆ 外部電源に接続する



- 1 電源アダプタのケーブルの丸い端子を本体の側面にある電源ソケットに差し込みます。

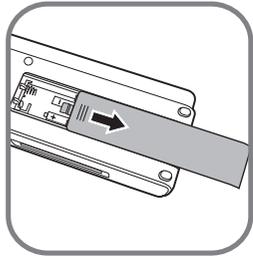


- 2 電源アダプタのプラグをコンセントに差し込みます。

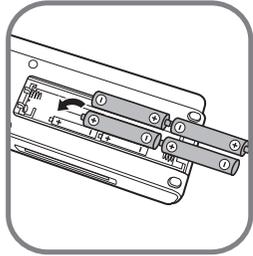
◆ 本体に電池を入れる

ご注意：

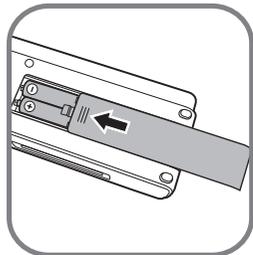
- ・外部の電源が取れない場合は電池をご使用ください。
- ・ニッケル水素電池 (充電式) をご使用ください。本製品に充電機能はありませんのでご注意ください。
- ・マンガン乾電池は使用できません。
- ・電池を入れた上で、外部電源に接続した場合には、外部電源からの電力だけを消費します。



- 1 本体の底面を上にして、電池ボックスのカバーを図のようにスライドして開けます。



- 2 単4電池を4本入れます。電池ボックス内の図を見て正しく電池を入れてください。



- 3 電池ボックスのカバーを元どおりにはめます。

メモ리카ードを挿入する

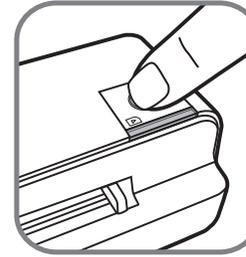


- 1 ロックされていない(書き込み可能な)メモ리카ードを、本体の背面にあるカードスロットに挿入します。

ご注意：

- メモ리카ードはスキャンを開始する前に必ず挿入してください。
- 本製品で利用できるメモ리카ードは、FAT16 および FAT32 ファイルフォーマットのもののみです。NTFS やその他のファイルフォーマットには対応していません。
- 対応するメモ리카ードの種類は、28 ページをご覧ください。

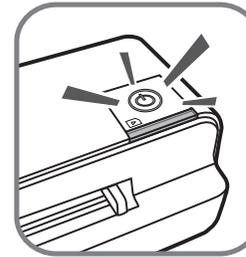
本体の電源を入れる



- 1 電源ボタンを押します。オペレーションランプとステータス/カードランプが点滅します。

ご注意：

ランプの意味については、9 ページの「ランプの点灯パターン」をご覧ください。



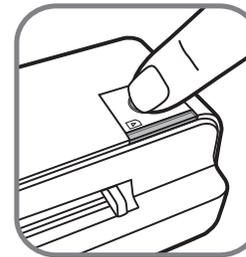
- 2 しばらくすると、オペレーションランプの点滅が終わり消灯します。ステータス/カードランプが点灯し、**フォトレコW**が使用可能であることを知らせます。

ご注意：

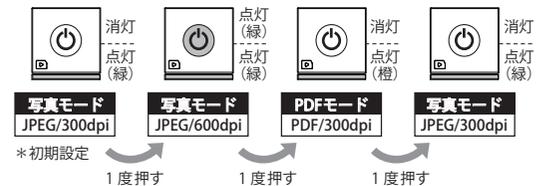
オペレーションランプが点滅している間は、挿入スロットに原稿を挿入しないでください。原稿は読み取られません。

保存形式を設定する (モード切替)

本機には、保存形式と解像度が異なる2つの読み取りモードが搭載されています。写真の保存には JPEG 形式が適しており、文書の保存には PDF 形式が便利です。読み取る原稿の種類に応じて、保存形式を設定してください。



- 1 電源が入っていることを確認し、電源ボタンを軽く(1秒未満)押してください。電源ボタンを押すたびにモードが切り替わり、ランプの点灯パターンも変わります。



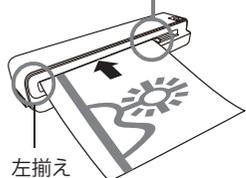
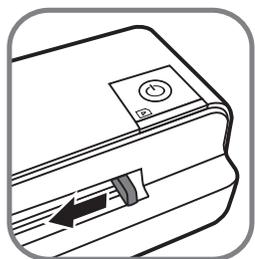
ご注意：

フィルムガイド装着時は、フィルムモード(JPEG/1200dpi)に固定されており、変更できません。

原稿をスキャンする

- 1 11 ページの「準備する」の手順に従って、本体の電源を入れ、保存形式を設定します。

ご注意：メモ리카ードが必要です。



左揃え

- 2 原稿の読み取り面を上向きにして、(24 ページの「原稿とスキャン画像の向き」を参照して) 挿入する方向が正しいことを確認し、原稿が挿入スロットの左端に揃うように、原稿ガイドの位置を調整します。

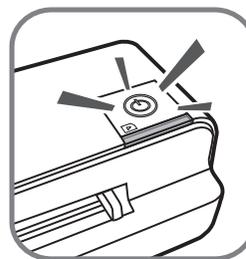
⚠ 注意：

高湿度 (相対湿度 70%以上) の環境では、光沢仕上げの写真のスキャンは行わないでください。写真の表面がくっつきやすくなり、紙詰まりの原因となります。

- 3 原稿をまっすぐ挿入スロットに差し込みます。原稿がスロット内に取り込まれ、自動的にスキャンが実行されます。スキャン実行中は、オペレーションランプとステータス/カードランプが点滅します。

ご注意：

画質の低下を防ぐため、正常な給排紙が行えるように、本体の背面に十分なスペースを確保してください。



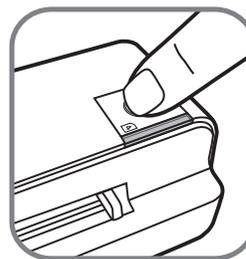
- 4 スキャンが完了しても、オペレーションランプとステータス/カードランプの点滅がしばらく続きますが、これは本機が画像処理とメモ리카ードへの保存を実行していることを示すものです。ランプの点滅が止まってから、次の原稿を挿入してください。

⚠ 注意：

原稿は1枚ずつ挿入し、前の原稿のスキャンが終わってから次の原稿を挿入するようにしてください。これを守らないと、製品に不具合が生じることがあります。

ご注意：

- スキャンを行う際は、常に本体を平らな場所に置いてください。スキャン実行中に本体を持ち上げないでください。
- ランプの点滅中に、メモ리카ードを取り出したり、電池や電源アダプタを抜いたりしないでください。
- スキャン実行中に、電池を取り出さないでください。
- 本製品が対応している出力画像フォーマットは、JPEG (.jpg) と PDF (.pdf) のみです。
- カレンダー機能はありません。データの日付や時刻の属性は、データが作成された日時を反映しておりません。
- 本製品でスキャンした画像ファイルがどのようにメモ리카ードに保存されるかについては、24 ページの「原稿とスキャン画像の向き」をご覧ください。
- メモ리카ードの空き容量がほとんどない (空き容量 10MB 未満) 場合は、ステータス/カードランプが点滅します。詳しくは、9 ページの「ランプの点灯パターン」をご覧ください。その場合、別のカードを使用するか、必要に応じてカードから一部ファイルを削除してご使用ください。



- 5 すべての原稿のスキャンが終わったら、電源をオフにします。本体の電源を切るには、電源ボタンをランプが切れるまで長押ししてください。これで、電源アダプタをコンセントから外したり、メモ리카ードを安全に取り出せる状態になります。

ご注意：

本製品は、5 分間操作をしなかった場合、自動的に電源が切れます。

35mm ネガフィルムをスキャンする

ご注意：

フォトレコ がサポートしているのは、「35mm ネガフィルム (6 コマ) マウントなし」だけです。

また、フィルムの中にはスキャンに適していない状態のものもあります。

詳しくは、22 ページの「スキャンに適した原稿と適していない原稿」をご覧ください。

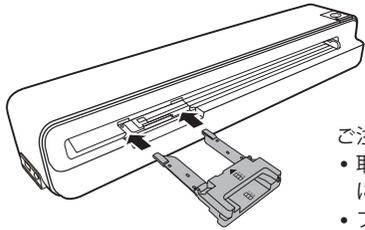
- 1 11 ページの「準備する」の手順に従って、本体の電源を入れておきます。
ご注意：メモ리카ードが必要です。



- 2 挿入スロットに何も挟まっていないこと、周りに十分なスペースがあることを確認します。

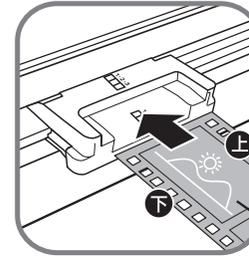
- 3 原稿ガイドを、挿入スロットの右端に寄せます。

- 4 図のように、フィルムガイドを溝に合わせて挿入スロットに差し込みます。カシャッと音がするまで奥までしっかりと差し込んでください。



ご注意：

- 取り付け時は、フィルムガイドの金属部品が曲がらないように慎重に差し込んでください。
- フィルムガイドを装着しても、ランプの状態は変化しません。



⚠ 注意

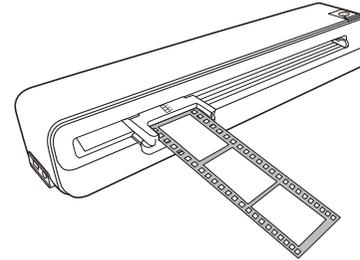
カールが強いフィルムの挿入は避けて下さい。ネガの詰まりや、取り込んだ画像に影響が生じる場合があります

- 5 ネガフィルムをフィルムガイドに挿入します。差し込む向きに注意してください。フィルムを挿入するとステータス/カードランプが点灯します。(消灯していた場合のみ)

写真の仕上がり状態が確認できる面を表にして、下側を挿入口の左端に合わせて挿入してください。

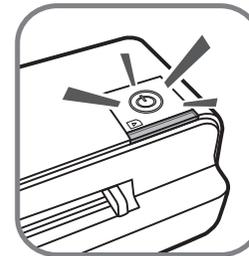


- 6 フィルムがスロットに取り込まれ、自動的にスキャンを開始します。スキャン作業中はオペレーションランプおよびステータス/カードランプが点滅します。写真のフィルムタイプ (カラー/モノクロ) を自動的に識別し、最適な色変換処理を行います。



ご注意：

- 本製品は、高解像度でフィルムをスキャンするため読み取り速度が写真をスキャンするときよりも遅くなります。



- 7 スキャンが完了すると、オペレーションランプとステータス/カードランプが一時的に点滅を続けます。これは、本機が画像を処理中およびメモ리카ードに保存中であることを示しています。ランプの点滅が止まってから、次のフィルムを挿入してください。

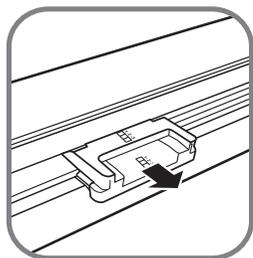
⚠ 注意：

1度に挿入できるフィルムは1枚だけです。フィルムは1枚ずつ挿入し、前のフィルムのスキャンが終わってから次のフィルムを挿入するようにしてください。これを守らないと、製品に不具合が生じます。

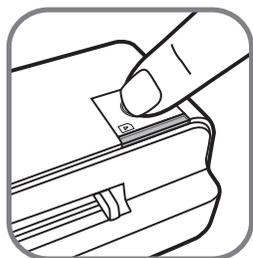
ご注意

- ・ランプの点滅中は、メモ리카ードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- ・フィルムモードの出力画像フォーマットは JPEG(jpg) のみで、日付や時刻の属性は追加されません。
- ・スキャンした画像ファイルがどのようにメモ리카ードに保存されるかについては、24 ページの「原稿とスキャン画像の向き」をご覧ください。
- ・メモ리카ードの空き容量がない場合(空き容量10MB未満)には、ステータス/カードランプが点滅します。詳しくは、9 ページの「ランプの点灯パターン」をご覧ください。その場合は、必要に応じてパソコンなどでカードから一部ファイルを削除するか、別のカードを使用してください。

※パソコンに画像をコピーしたりする際は、同じファイル名のデータを誤って上書き保存しないよう十分ご注意ください。



- 8** ネガフィルムをすべてスキャンした後、フィルムガイドを取り外すときは、慎重に挿入スロットから引き抜いてください。



- 9** 本体の電源を切るには、電源ボタンをランプが切れるまで長押ししてください。これで、電源アダプタをコンセントから外したり、メモ리카ードを安全に取り出せる状態になります。

ご注意：
本製品は、5分間操作をしなかった場合、自動的に電源が切れます。

パソコンに接続する

フォトレコWをパソコンに接続すると、メモ리카ード内のスキャン画像に直接アクセスできるようになります。また、本製品をメモ리카ードリーダーのように使用できるようになるので、メモ리카ード内のファイルのコピー、貼り付け、削除が、パソコンを使って自在にできます。

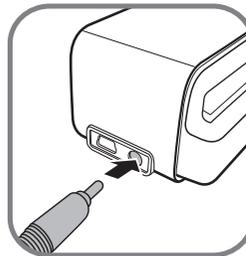
◆パソコンのシステム要件

対応 OS : Windows の場合 Windows XP, Vista, 7 とそれ以降のバージョン

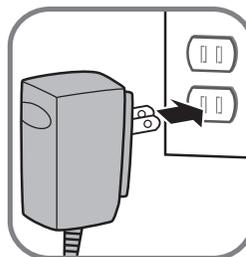
Macintosh の場合 Mac OS 10.5, 10.6 とそれ以降のバージョン

対応 USB ポート : USB1.1 ポートまたは USB2.0 ポート

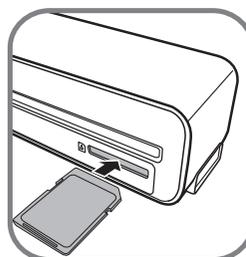
◆接続のしかた 電池を使用する場合は、手順3にお進みください。



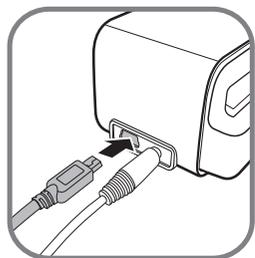
- 1** 電源アダプタのケーブルの丸い端子を本体の側面にある電源ソケットに差し込みます。



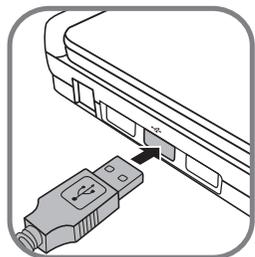
- 2** 電源アダプタのプラグをコンセントに差し込みます。



- 3** 対応メモ리카ードを、本体の背面にあるカードスロットに挿入します。



4 USB ケーブルの小さい方の端子を
本体側面のミニUSBソケットに接続します。



5 パソコンの電源を入れ、USB ケーブルの
大きい方の端子をパソコンの USB ポートに
接続します。



6 **フォトレコー**の電源ボタンを押し
オペレーションランプが点滅します。

ご注意：
詳しくは、9 ページの「ランプの点灯パターン」をご覧ください。

7 **フォトレコー**は、リムーバブルディスクとしてパソコンに認識され
ます。しばらくすると、ステータス/カードランプの点滅が終わり、
メモリカード内のファイルの表示や編集を行えるようになります。

ご注意：
パソコンがメモリカード内のファイルにアクセスしている間は
メモリカードを絶対に取り出さないでください。データ破損の
原因となります。

Windows 7 / Vista の場合



SD カードを入れた本製品をパソコンが認識すると
「自動再生」ポップアップ・ウィンドウが表示されます。
スキャン実行中にパソコンで写真を見るには、
Windows エクスプローラの設定を次のように変更してください。

- (1) 「ピクチャに対しては常に次の動作を行う」にチェックを入れます。
- (2) 「フォルダを開いてファイルを表示」を選択します。

Windows 8 の場合



SD カードを入れた本製品をパソコンが認識すると、
「ムービーフォトメニュー」のポップアップウィンドウが表示されます。
スキャン実行中にパソコンで写真を見るには、
Windows エクスプローラの設定を次のように変更してください。



- (1) [設定] ボタンをクリックし、[設定] ポップアップウィンドウを
表示します。
- (2) 「ムービーフォトメニュー起動後の動作」内の
「メニュー画面を表示せず、以下の機能を直接起動する」に
チェックを入れ、
「Windows エクスプローラでファイルを開く」を選択します。

Macintosh の場合

SD カードを入れた本製品をパソコンが認識すると、デスクトップに外部メモリアイコンが表示されます。
中を見るには、アイコンをダブルクリックして「ファインダー」のウィンドウを開いてください。

8 接続した **フォトレコー** をパソコンから安全に取り外すには、
パソコンで以下の操作を行ってください。

Windows の場合

- (1) Windows のシステムトレイにある [ハードウェアの安全な取り外し]
アイコンをクリックします。

[ハードウェアの安全な取り外し] アイコンの例 

- (2) 表示される項目のうち [USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り
外します] をクリックします。
※複数の機器がパソコンに接続されている場合、誤って他の機器をクリックしないようにご注意ください。
- (3) 画面上に [ハードウェアの安全な取り外し - 大容量記憶装置デバイ
スは安全に取り外すことができます] が表示されると、デバイスを
安全に取り外すことができます。
- (4) **フォトレコー** をパソコンから取り外します。

Macintosh の場合

- (1) 外部メモリアイコンをクリックして [ゴミ箱] までドラッグします。
- (2) **フォトレコー** をパソコンから取り外します。

詳細情報

スキャンに適した原稿と適していない原稿



本製品は、以下の原稿に対して最適なスキャン結果が得られるように設計されています。

- 写真（L判、ハガキサイズ、2L判からA4サイズまで）
- カール防止シートを使用した、雑誌の切り抜きや新聞などの原稿
- 名刺
- 35mm ネガフィルム（6コマ） マウントなし



以下のような原稿をスキャンしないでください。
本製品が正常に作動せず、原稿がスロット内で詰まったり、
画像の自動クロップ機能が正常に機能しない可能性があります。

- 厚さ 0.4mm 以上の原稿
- 一辺の長さが 55mm 未満の原稿
- 黒や暗い色が多い原稿
- フチが暗い色の原稿
- 印刷した画像（新聞や雑誌などに印刷されている写真）

カール防止シートをご利用ください。

- 薄くやわらかい素材（薄紙、布など）

カール防止シートをご利用ください。

- 以下の許容サイズを超える原稿

画像データサイズ 300dpi：5 MB まで
600dpi：10 MB まで

幅 216mm
(8.5 インチ)

長さ 304.8mm (12 インチ)

ご注意：

長さが 304.8mm 以内であっても、画像データサイズが上記を超えるデータは保存ができません。ご了承ください。



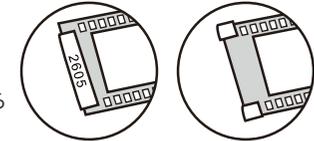
● 露光過多のネガフィルム

自動検出ミスを防ぐために、フィルムの始めに露光過多のコマがある場合は、挿入前に取り除いてください。

● 以下の状態のネガフィルム

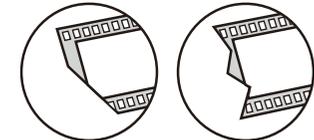
フィルムの端にテープが付いているもの

テープをはがし、糊の跡が残らないようにきれいにしてからスキャンしてください。



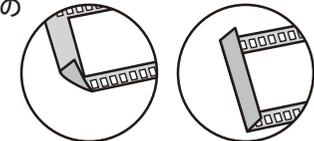
フィルムの端がまっすぐにカットされていないもの

まっすぐにカットしてからスキャンしてください。



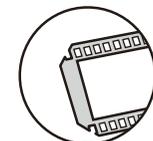
フィルムの端が折れているもの

折れた部分を戻してください。
きれいに戻らない場合は、まっすぐにカットしてください。



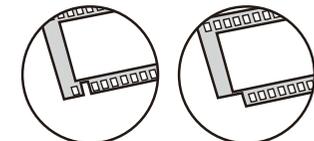
フィルムの端が細くなっているもの

まっすぐにカットしてからスキャンしてください。



フィルムのパーフォレーション（送り穴）が欠けていたり、無くなっているもの

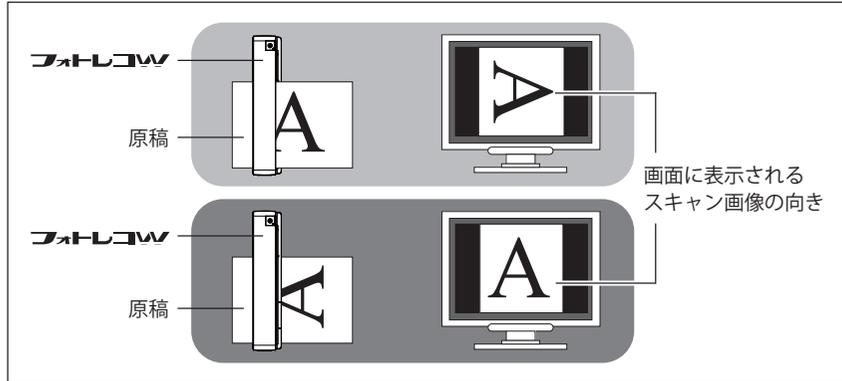
本製品の自動給紙機能に影響を及ぼすおそれがあります。
必要に応じて、フィルムを慎重にフィルムガイドに押しこんでください。



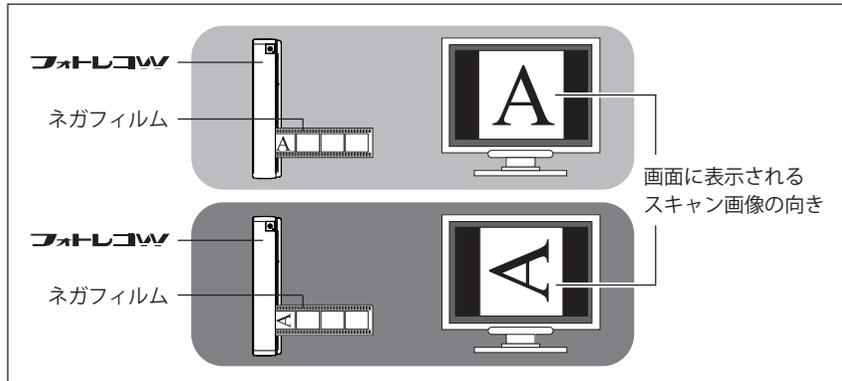
原稿とスキャン画像の向き

スキャン時の原稿の向きと、パソコンの画面に表示されるスキャン画像の向きの関係については、以下の図を参照してください。

原稿(文書・写真)の場合



ネガフィルムの場合

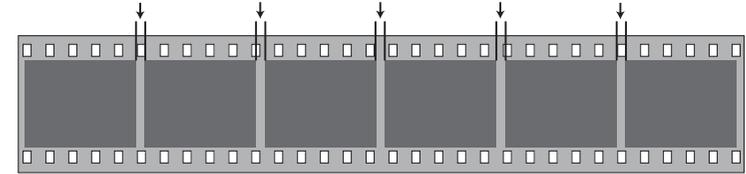


で注意：
同じ原稿をスキャンしてもスキャンの向きが異なると、色調や輝度が若干異なる画像になる場合があります。これは不具合ではありません。

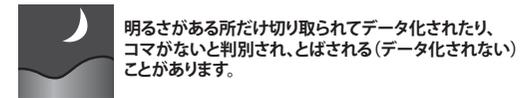
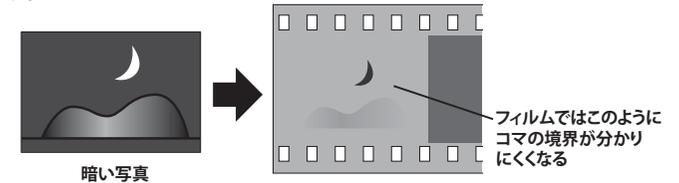
スキャン画像のクロップ処理

スキャンした画像により、一部がクロップ(切り取り)処理される事があります。画像が切り取られてしまう場合、下記をご確認ください。

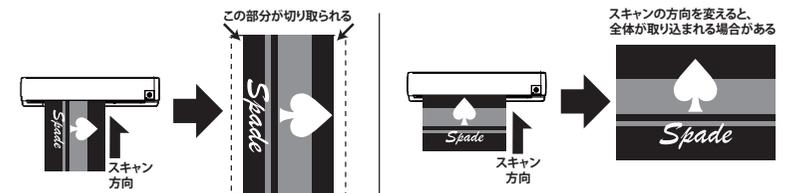
本製品は、フィルムのコマの間隙を読み取り、写真のコマを判別しております。



このため、下記の様な暗い箇所がある写真の場合、コマが正しく読み取られず、写真の一部が切り取られたり、そのコマがとばされてデータ化されたりする事があります。

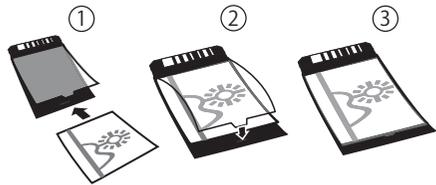
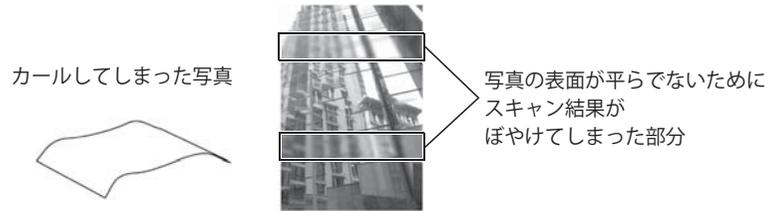


写真原稿の場合も、真黒な箇所が多くある場合、スキャン方向に対し左右が切り取られる場合があります。

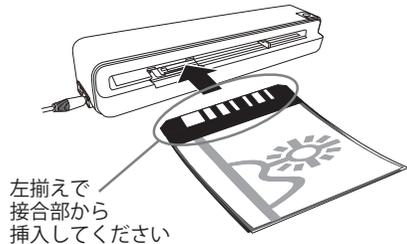


カール防止シートを使用する

お手持ちの写真や、雑誌や新聞の切り抜きを読み込むときには、付属のカール防止シートを使用してください。カール防止シートは、雑誌・新聞などの薄い用紙・やわらかい用紙を読み込む際の紙詰まり防止をはじめ、対象物の表面を平らにすることで、スキャン画像がぼやけてしまわないようにする効果があります。



1 図のように、対象の用紙をカール防止シートに挟みます。

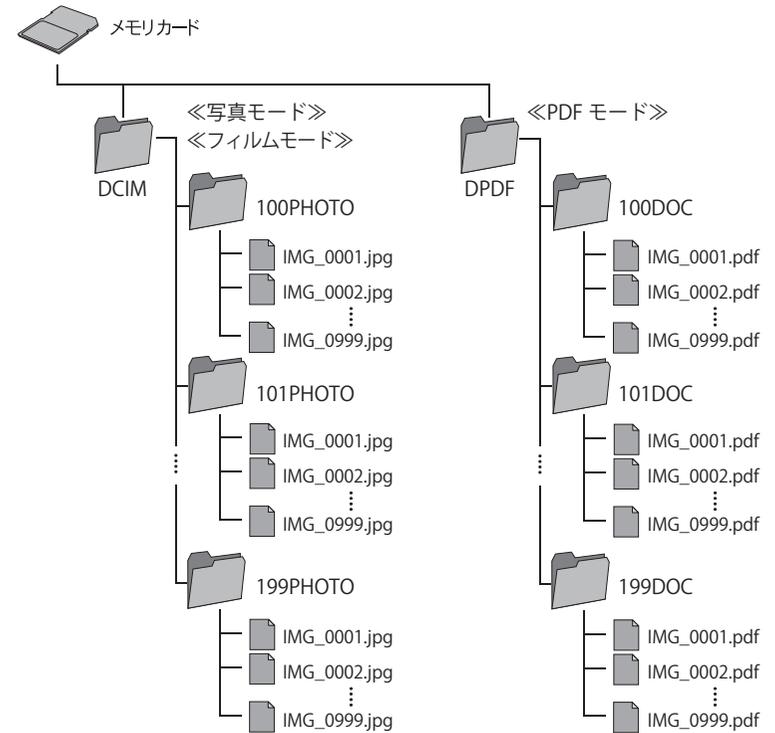


2 カール防止シートが、挿入スロットの左端に揃うように原稿ガイドの位置を調整し、まっすぐシートを挿入します。(接合部から入れます)

ご注意：

- 紙詰まりを防ぐために、原稿は常に水平に挿入してください。
- カール防止シートに写真を長時間挟んだままにしておくと、シートにくっついてしまう場合があるので、スキャン後は写真をシートから取り外してください。
- 最高のスキャン画質を得るために、原稿には指紋、油、泥、ホコリが付かないようにしてください。
- カール防止シートを使わないときは、ホコリがたまらないように大切に保管してください。

ファイル名と保存に関するルール



• 本製品でメモ리카ードを初めて使用した場合、「DCIM」または「DPDF」という名前のフォルダがルートディレクトリに作成されます。写真モードで読み込んだ画像はフォルダ「DCIM」-「100PHOTO」の直下に保存され、PDFモードで読み込んだ画像はフォルダ「DPDF」-「100DOC」の直下に保存されます。各画像およびPDFのファイル名には「IMG_」につづき4桁の連番が割り振られます。

• 「100PHOTO」フォルダ内で、ファイル名が「IMG_0999.jpg」に達すると、「101PHOTO」という名前の新しいフォルダが自動的に作成され、以降の新規ファイルは順次このフォルダに保存されます。同様に「100DOC」フォルダ内で、ファイル名が「IMG_0999.jpg」に達すると、「101DOC」という名前の新しいフォルダが自動的に作成され、以降の新規ファイルは順次このフォルダに保存されます。

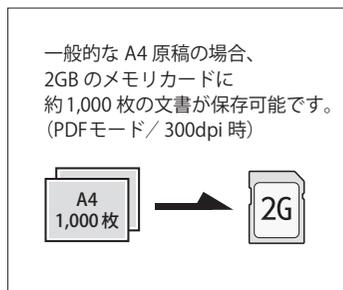
• 本製品によって作成されたフォルダが、メモ리카ード内にすでにある場合は、最後に作成されたフォルダに保存されます。

- ・1枚のメモ리카ードに保存できるフォルダの数は最大200個(100PHOTO、101PHOTO～199PHOTOおよび100DOC、101DOC～199DOC)です。これを上回るとステータス/カードランプが点滅します。必要に応じてメモ리카ードの一部ファイルを削除するか、別のメモ리카ードを使用してください。

- 本機で読み込んだ画像の削除はフォトレコ本体では出来ません。パソコンなどをご使用ください。
- 別のフォルダに同じファイル名のデータがある場合があります。パソコンなどにデータを取り込む際には、誤って上書き保存しないよう十分ご注意ください。

対応メモ리카ード

- ・SD (セキュアデジタル)
 - ・SDHC
 - ・Mini SD *アダプタが必要
 - ・Mini SDHC *アダプタが必要
 - ・Micro SD *アダプタが必要
 - ・MS (メモリスティック)
 - ・MS Pro
 - ・MS Pro Duo *アダプタが必要
 - ・MS Duo *アダプタが必要
 - ・MMC (マルチメディアカード)
 - ・RS-MMC *アダプタが必要
- 32GB まで対応
- 16GB まで対応
- 1GB まで対応



※メモ리카ードは商品に入っておりません

お手入れとメンテナンス

本製品のクリーニング

最高の画質を保ち、ホコリがたまるのを防ぐため、スキャン回数 50 回～100 回ごと、もしくはスキャン画像に縦線や横線が生じた場合に、**フォトレコ** (筐体および内部の画像センサー) のクリーニングを行ってください。

クリーニングの際は、付属品及び下記手順で示した用具以外は使用しないでください。

警告

本製品のクリーニングには、溶剤や腐食性の液体 (アルコールやケロシンなど) は絶対に使用しないでください。プラスチック材質に修復できない損傷が生じるおそれがあります。

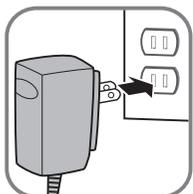
◆筐体のクリーニング

以下の手順に従って、筐体のクリーニングを行ってください。

- 1 ダストブローワーを使用して本体に付いたホコリを除去します。
- 2 本体の表面に汚れがある場合は、軽く湿らせた布で拭き取ります。
- 3 清潔で糸くずの出ない乾いた布で本体をから拭きします。

◆ ローラーのクリーニング

1 先に 29 ページの手順に従って、筐体のクリーニングを行います。

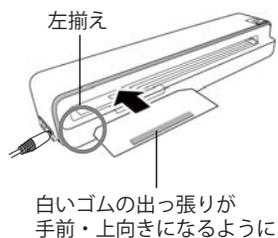


2 **フォトレコ** に電源アダプタを接続し、コンセントに差しします。

ご注意：
ローラークリーニングモードは、電池の消耗が特に激しいため、電源アダプタのご使用をおすすめします。



3 電源がオフの状態から、電源ボタンをランプが点灯するまで長押ししてください。
(ランプが点灯したら指を離します)

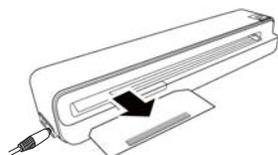


4 付属のローラー用クリーニングシートを挿入スロットの左端に揃えて挿入します。
シートについている白いゴムの向きに注意してください。

ご注意：
挿入する前に、シートにホコリが付いていないことを確認してください。



5 クリーニングシートが自動的に挿入スロットに取り込まれ、クリーニング作業を開始します。
クリーニング作業中は、オペレーションランプとステータス/カードランプが同時にゆっくりと点滅します。

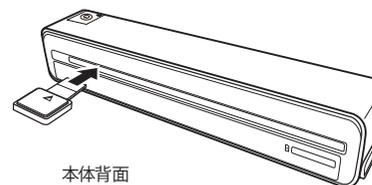


6 クリーニング作業が終わると、挿入スロットからクリーニングシートが排出され、オペレーションランプが点灯します。
取り外したクリーニングシートは、ホコリが付かないように大切に保管してください。

ご注意：メモリカードが無い状態では、ランプが点滅し続けます。

◆ 画像センサーのクリーニング

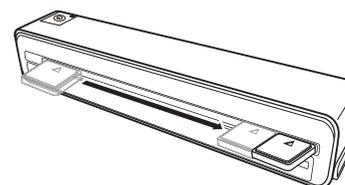
1 先に 29 ページの手順に従って、筐体のクリーニングを行います。



本体背面

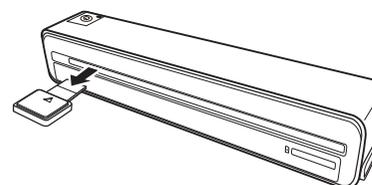
2 本体の電源がオフで、コンセントに接続されていない状態で、付属のセンサー用クリーニング用具を排出スロットの端に差し込みます。

ご注意：
• 差し込みにくい場合は、排出スロット内の金属板とローラーの間をねらって差し込んでください。
• クリーニング用具を排出スロットに差し込む前に、用具にホコリが付いていないことを必ず確認してください。



3 センサー用クリーニング用具を排出スロットのもう一方の端まで慎重にスライドさせます。これを 5～6 回続けて行います。

ご注意：
クリーニング用具に圧力をかけすぎないように注意してください。



4 最後にセンサー用クリーニング用具を排出スロットの左端までスライドさせ、スロットから抜き取ります。
センサー用クリーニング用具は、ホコリが付かないように大切に保管してください。

キャリブレーションについて

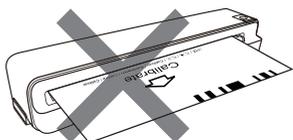
前項のクリーニング操作を行ってもスキャン画像が不鮮明だったり、不要な線が生じる場合には、キャリブレーションを行い、センサー本来の精度に戻す必要があります。キャリブレーションを行うには、付属のキャリブレーションカードを使用します。

- 1 29 ページの記載に従って、画像センサーのクリーニングを行ってから、11 ページの「準備する」の手順に従って、スキャン実行の準備をします。

ご注意：メモリカードが必要です。



- 2 図のようにキャリブレーションカードを挿入します。フォトレコW 本体がキャリブレーションカードのパターンを読み取り、内部にあるセンサーのキャリブレーションを自動的に実行します。



ご注意：
キャリブレーションカードを挿入する際は、必ず正しい向きで、挿入スロットの左端に合わせて挿入してください。向きや位置が間違っているとキャリブレーションは正常に行われません。

保管のしかた

本製品を長期間使用しない場合には、以下の要領で、次に使用するときまで大切に保管してください。

- 1 **フォトレコW**の電源アダプタをコンセントから外し、本体から電池を取り外します。
- 2 ホコリがたまらないように、本体と電源アダプタを箱（または袋）にしまします。
- 3 本体と電源アダプタを入れた箱（または袋）は、高温多湿を避け、小さなお子様の手の届かない場所に保管します。
このとき、本体の上に重たいものを置かないでください。筐体の上部が変形するおそれがあります。
- 4 長期間使用していなかった本体を再び使用する場合には、はじめにクリーニングとキャリブレーションを行ってください。

トラブル対処法

スキャン画像に不要な線が生じたり、画像が不鮮明な場合

●原稿にキズや汚れはありませんか？

原稿に汚れやホコリが付着している場合には、スキャンを行う前に除去してください。

●長期間、クリーニングやキャリブレーションを行わないまま使用していませんか？

29ページの「本製品のクリーニング」と32ページの「キャリブレーションについて」を参照して、クリーニングとキャリブレーションを行ってから、再度スキャンを行ってみてください。

原稿が挿入スロットに取り込まれる途中で詰まってしまった

電源ボタンを押してください。

詰まっている原稿が、排出スロットから取り出せます。

ステータス/カードランプが速く点滅しており、スキャンを行えない

以下のことを確認してください。

●メモ리카ードがカードスロットに正しく挿入されていますか？

対処法：カードを正しく挿入し直してください。

●SDカードがロック(書き込み保護設定)されていませんか？

対処法：ロックを解除してください。

●メモ리카ードの空き容量が不足していませんか？

対処法：メモ리카ードの空き容量が10MB未満の場合は、ランプが点滅します。必要に応じて別のカードを使用してください。

●メモ리카ードがNTFSやその他のフォーマットではありませんか？

本製品に使用できるメモ리카ードはFAT16およびFAT32フォーマットのもののみです。

●前の原稿のスキャン処理が完了する前に次の原稿を挿入していませんか？

対処法：本体の電源をいったん切り、電源を入れ直してからスキャンを再実行してください。前の原稿のスキャン処理が完了するまでは、絶対に次の原稿を挿入しないでください。

●原稿のサイズが最大許容サイズを超えていませんか？

詳しくは、22ページの「スキャンに適した原稿と適していない原稿」をご覧ください。

フォトレコW 本体に触ると熱い

本製品を長時間にわたって使用すると、本体に多少の発熱(約30℃～45℃)を生じることがありますが、これは正常な動作です。ただし、**フォトレコW**から異臭がする場合や、触れないほど本体が高温になっている場合は、ただちに本体から電源アダプタを取り外し、パソコンとの接続ケーブルを取り外してください。

スキャンの途中で動作が停止してしまう

◀電池をご使用の場合▶

新しい電池と交換してから、再度本体の電源を入れてください。

◀電源アダプタをご使用の場合▶

いったんプラグを外して、接続し直してから、再度本体の電源を入れてください。

●挿入スロットに原稿が詰まっていますか？

対処法：電源ボタンを押すと、原稿が排出されます。

ネガフィルムが読み込み途中で止まってしまった

フィルムを進行方向に押ししてみてください。フィルムが自然に送られるようであればそのまま排出されるまで待ってください。

フィルムが自然に送られない場合は無理に押ししたり抜いたりせず、フィルムガイドをゆっくりとねいに5～10ミリほど引き抜いてください。

(引き抜き過ぎないように注意)

そうするとフィルムが軽く引き取れますので、慎重にフィルムを取り出してください。

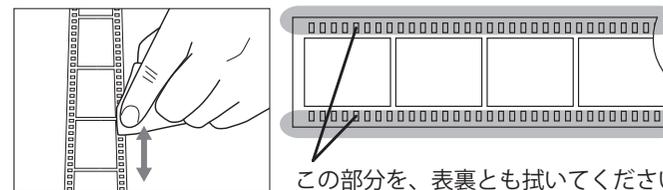
※途中で止まってしまった場合は、画像が正しくスキャンされておりません。下の対処法をお試し頂き、もう一度スキャンを行ってください。

フィルムが送れない、途中で止まる、読み込み画像が伸びてしまう

●長期間、ネガシートに保存していたネガフィルムやモノクロフィルムを、袋から取り出してすぐに読み込もうとすると、フィルムの変質により、フィルムの送りが正常にできない場合があります。

対処法：以下の手順をお試しください。

- ① フィルムをネガシートから取り出し、ホコリがかからないような状態で、しばらく放置する。(約1時間)
- ② 放置した後、柔らかい乾いたきれいな布(ゴミ、ほこり等がついていない)で、フィルムのパーフォレーション部(穴の開いている部分)を強く数回拭く。フィルムの両面を行う。



この部分を、表裏とも拭いてください。

ご注意：画像の部分に触れないように注意して拭いてください。キズになるおそれがあります。

- ③ **フォトレコW**でフィルムを読み込み、画像を確認する。まだ不具合がある場合は、もう一度手順②を行ってください。
- ④ フィルムの状態によっては、数十枚以上フィルムを読み込むとローラーが汚れ、画像が伸びてくる場合があります。その場合には、30ページの「ローラーのクリーニング」を行ってください。

仕様

給紙方法	シートフィードタイプ (シングルパス)
解像度	写真モード 300×300dpi (初期設定)、600×600dpi PDF モード 300×300dpi フィルムモード 1200×1200dpi
寸法 (近似値)	269 (幅) × 56 (奥行) × 44 (高さ) mm
重量 (近似値)	391g (付属品を含まない)
使用できる メモ리카ードの種類	SD、SDHC、Mini SD*、Mini SDHC*、Micro SD* MS、MS Pro、MS Pro Duo*、MS Duo*、MMC、RS-MMC* <small>*印のカードにはアダプタが必要です。 詳しくは、28 ページの「対応メモ리카ード」をご覧ください。</small>
出力画像形式	PDF (.pdf) 形式 JPEG (.jpg) 形式
USB ポート	USB2.0 の仕様に対応
電源入力	100 ~ 240V AC、50/60Hz  必ず専用の電源アダプタを ご使用ください
電源出力	5V DC、1A
動作時の環境	温度：15℃～35℃ 相対湿度：20%～70%
保管時の環境	温度：-20℃～60℃ 相対湿度：10%～90%

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh は米国 Apple Computer, inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている商品名、会社名等は一般に商標または登録商標です。
- 本製品に対して全てのパソコンでの動作を保証するものではありません。

■商品改良のため、仕様、外観は予告無く変更することがあります。

この商品に関するご意見ご質問については下記へお寄せください。

ナカバヤシ株式会社

ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。

<http://www.nakabayashi.co.jp/>

〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1

商品に関するお問い合わせは…

受付時間

〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23

TEL:0120-166-779

10:00~12:00/13:00~17:00